TOSHIBA　あかるい明日を技術でひらく

東芝インターホン取扱説明書

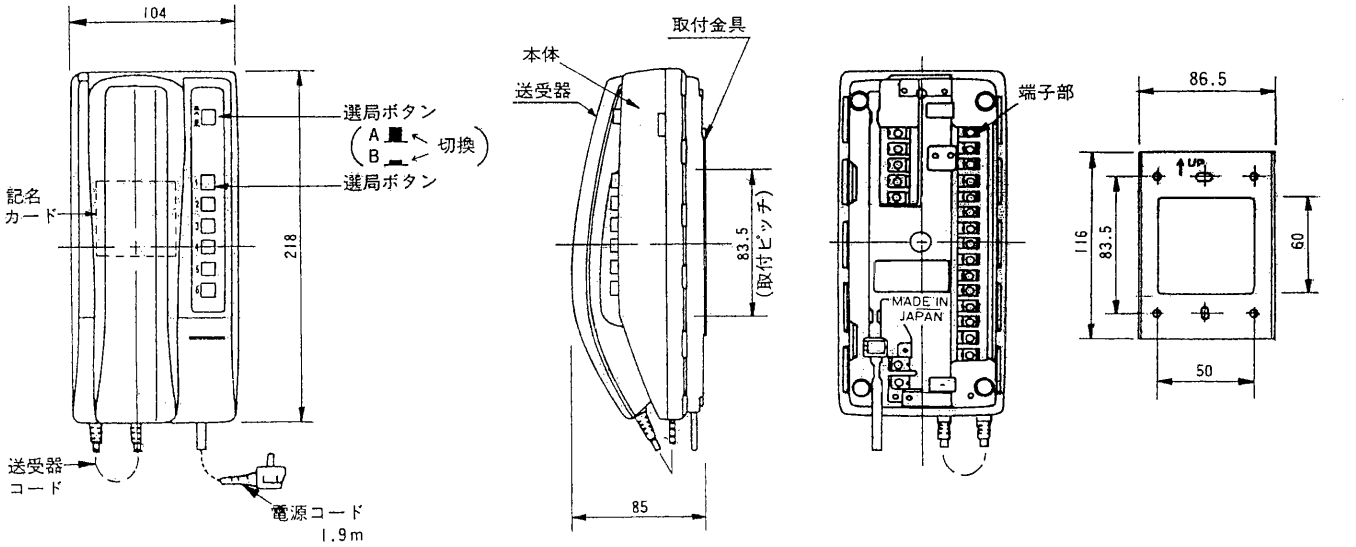
テレホンエース　12局用親　機　BTC-12P　テレホン子機　BTC-R
副親機　BTC-12

このたびは東芝インターホンをお買いあげいただきましてまことにありがとうございました。
お求めのインターホンを正しく使っていただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
なお、お読みになったあとは、必ず保存してください。

各部のなまえと大きさ(単位：mm)

■親機、副親機

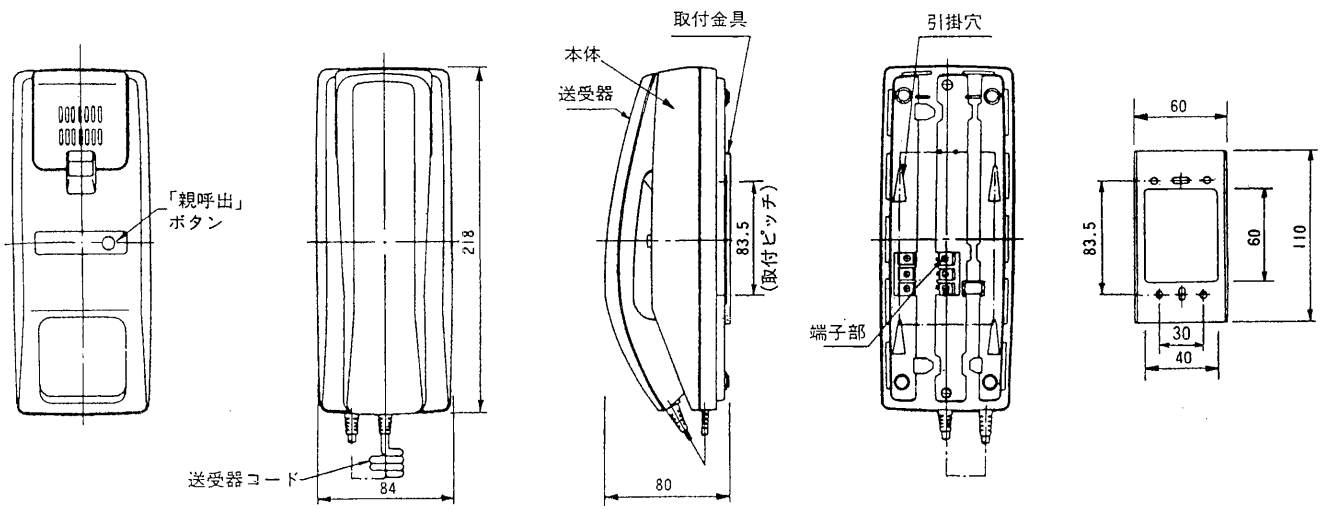
正　面　　側　面　　底　面　　取付金具



（副親機BTC-12には電源コードはありません。）

■テレホン子機

上蓋正面　　正　面　　側　面　　底　面　　取付金具

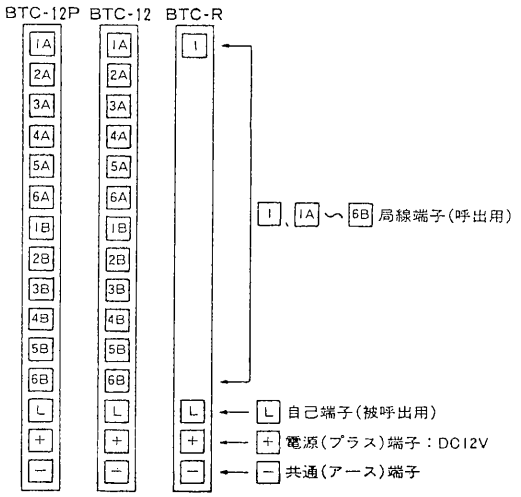


＜生産完了 2004年01月01日＞
BTC-12 (1/8)

特にご注意を

- 本体はあけないでください。
- 親機の電源は必ずAC100Vのコンセントに接続してください。AC100V以外のコンセントに接続しますと故障することがあります。

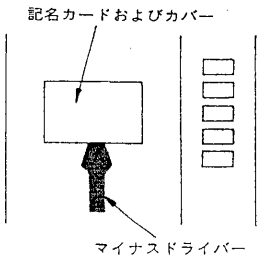
各端子のなまえ



使いかた

■記名カードの使いかた

●本体の記名カードを使う場合



- 図のように記名カードカバーの切り欠き部分にマイナスドライバーを入れてカバーをはずし、記名カードを取り出してください。
- 記名カードに相手先を記入しましたら、記名カードおよびカバーをもとのように入れてください。

●記入の方法

たとえば選局ボタンにより5→2を押しますと2Bの相手を呼び出します。2Bが事務室と仮定しますと次のように記入します。

	A	B
1		
2		事務室
3		
4		
5		
6		

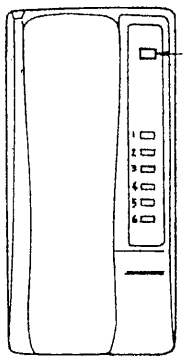
●付属の記名カードを使用する場合

たとえば2Bの相手が事務室の場合の記入方法

	1	2	3	4	5	6	
A							A
B		事務室					B
C							C
D							D

吊りひも 約20cm

記入後は親機の近くにひもで結びつけてご使用ください。



■呼出し

- 送受器を取り、耳にあて、通話中でないことを確認して、相手先の選局ボタンを2つ押します。

  たとえば1Aでしたら、一番上にあるボタンをA状態 ■(押されていない状態)にし、次に1のボタンを押しますと1Aに呼出音(ピー)が鳴ります。また1Bでしたら、一番上にあるボタンをB状態 ▬(押された状態)にし、次に1のボタンを押しますと1Bに呼出音(ピー)が鳴ります。

- 子機からは、呼出ボタンを押すだけで呼び出せます。

＜生産完了 2004年01月01日＞

■通話

●呼ばれたら送受器を取るだけで通話できます。

> ●通話中のときには話し声が聞えますので、終るまで待つか、早く終るように話しかけてください。
> ●相手を呼んでいる間、自分の受話口からも小さく呼出確認音(ピー)が聞えます。

■通話が終ったら

●通話が終ったら、正しく送受器を掛けてください。
正しく掛っていませんと、相手から呼ばれても呼出音が鳴りません。

■会議通話

●共通通話式ですので、送受器を取りますと、同時に数個所間の通話ができます。

お手入れのしかた

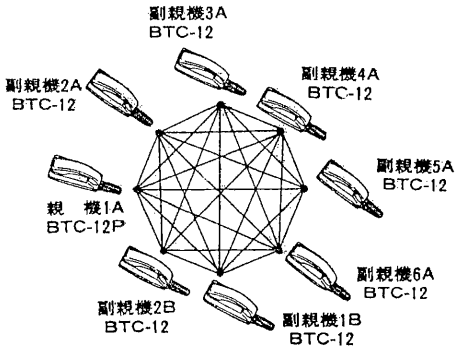
●本体や送受器はやわらかな布でからぶきしてください。
汚れがひどいときは石けん水を浸した布をよくしぼってからふいてください。
●機器をいためますので、ガソリン・ベンジン・シンナーなどの薬品でふかないでください。

組み合せ接続例

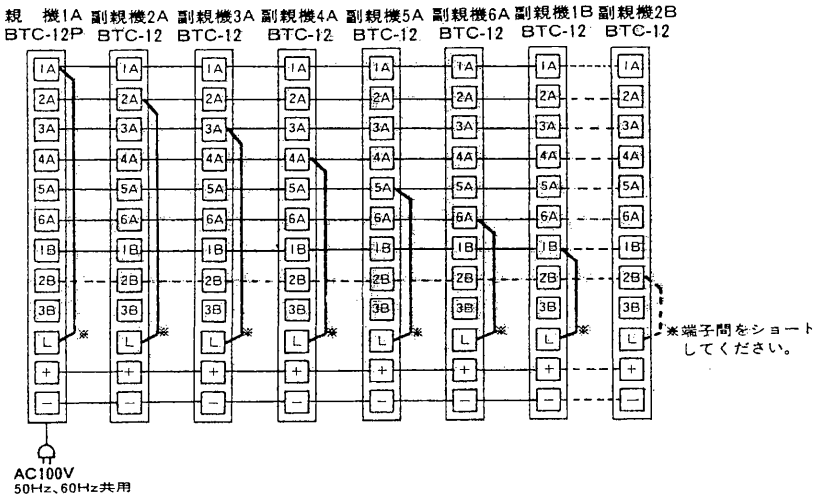
■相互式で7台または8台使用する場合

親　機BTC-12P　　1台
副親機BTC-12　　6台または7台

●通話網



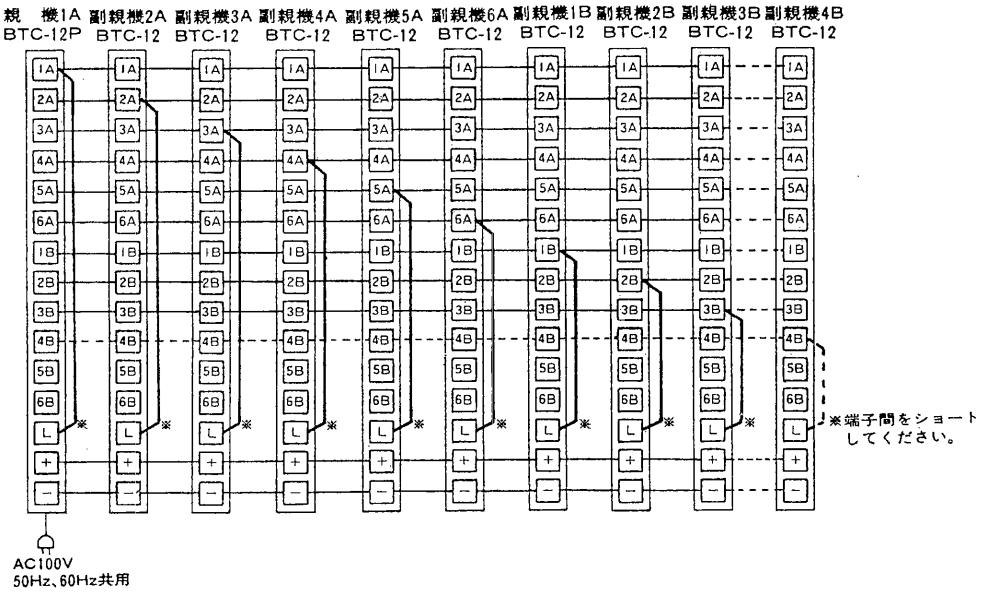
●接続例……部は8台使用時の接続



■相互式で9台または10台使用する場合

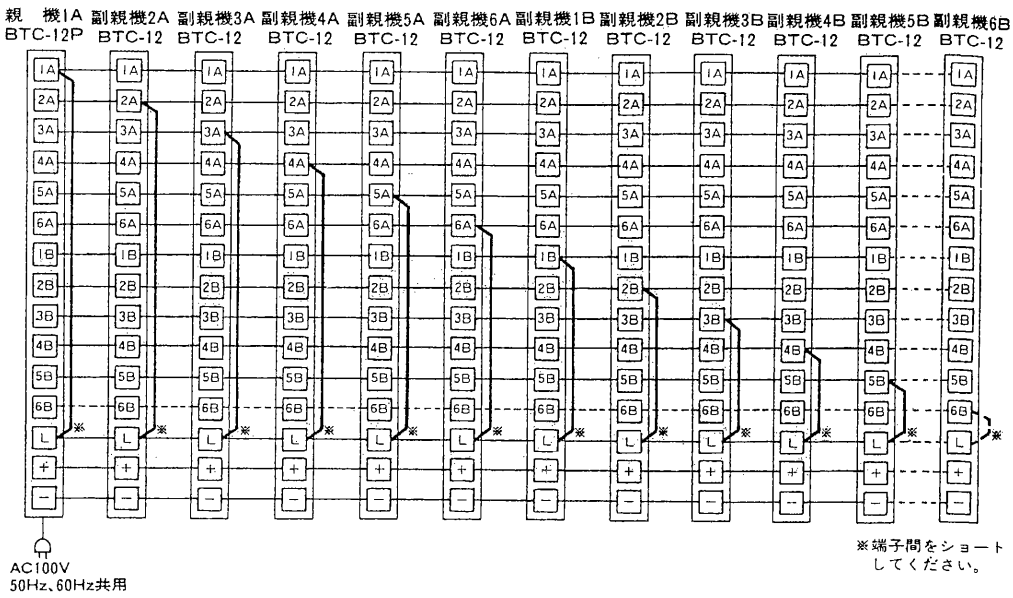
親　機BTC-12P　　1台
副親機BTC-12　　8台または9台

●接続例……一部は10台使用時の接続



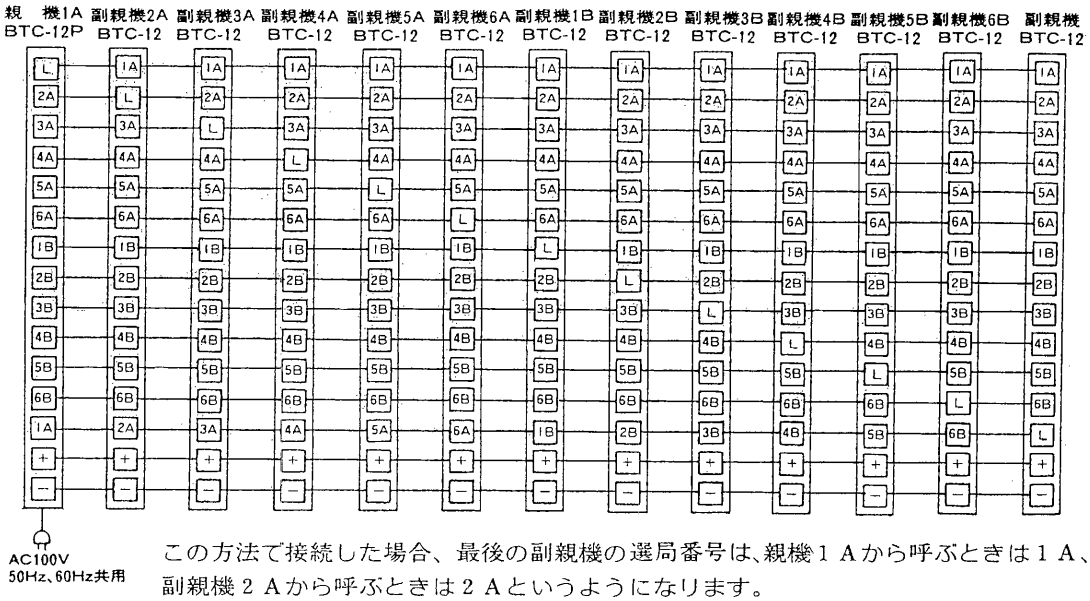
■相互式で11台または
12台使用する場合
親　機BTC-12P
1台
副親機BTC-12
10台または11台

●接続例…一部は12台
使用時の接続



■相互式で13台使用
する場合
親　機BTC-12P
1台
副親機BTC-12
12台

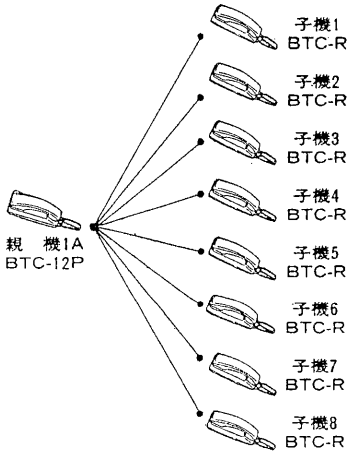
●接続例



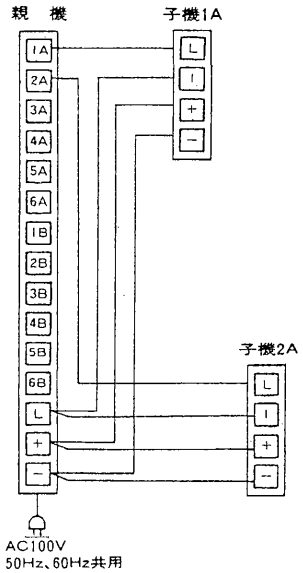
この方法で接続した場合、最後の副親機の選局番号は、親機１Ａから呼ぶときは１Ａ、副親機２Ａから呼ぶときは２Ａというようになります。

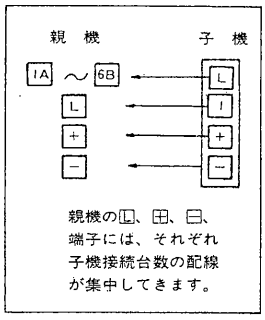
■親子式で子機を７台または８台使用する場合
親機BTC-12P　１台
子機BTC-R　７台または８台

●通話網



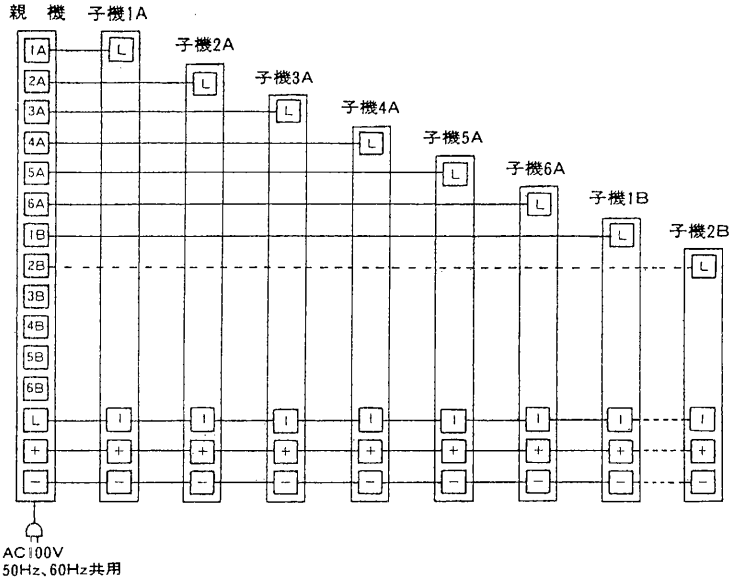
●接続例１　集中方式で配線する場合
配線数：各子機へ４本





＜生産完了 2004年01月01日＞
BTC-12 (4 / 8)

● 接続例 2　共通線を送り配線する場合
配線数（３＋子機台数）本
…は８台使用時



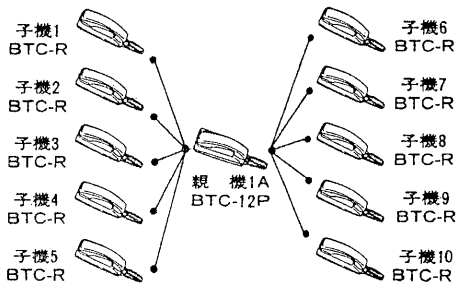
■親子式で子機を９台または10台使用する場合

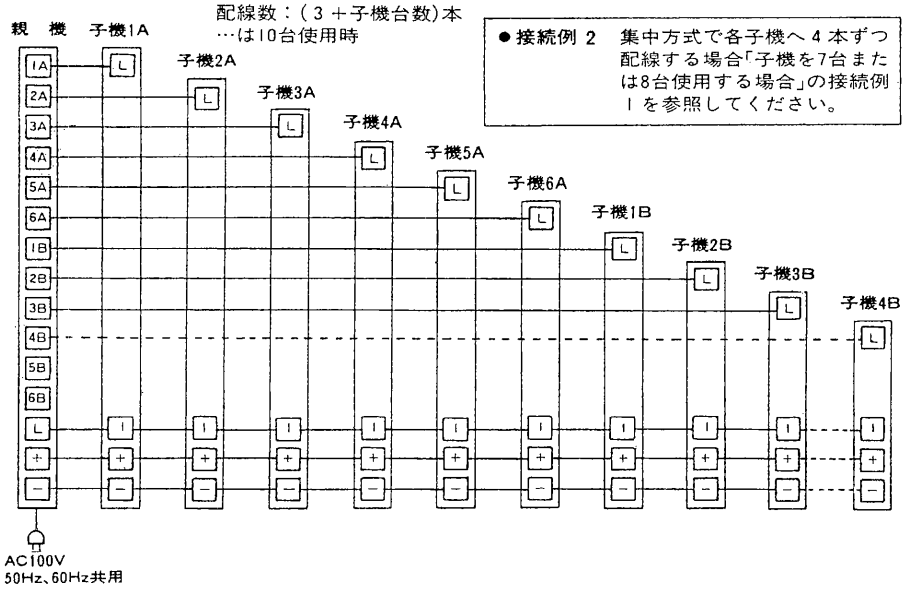
親機BTC-12P　　１台
子機BTC-R　　９台または10台

● 接続例１　共通線を送り配線する場合
配線数：（３＋子機台数）本
…は10台使用時

● 接続例２　集中方式で各子機へ４本ずつ配線する場合「子機を7台または8台使用する場合」の接続例１を参照してください。

● 通話網





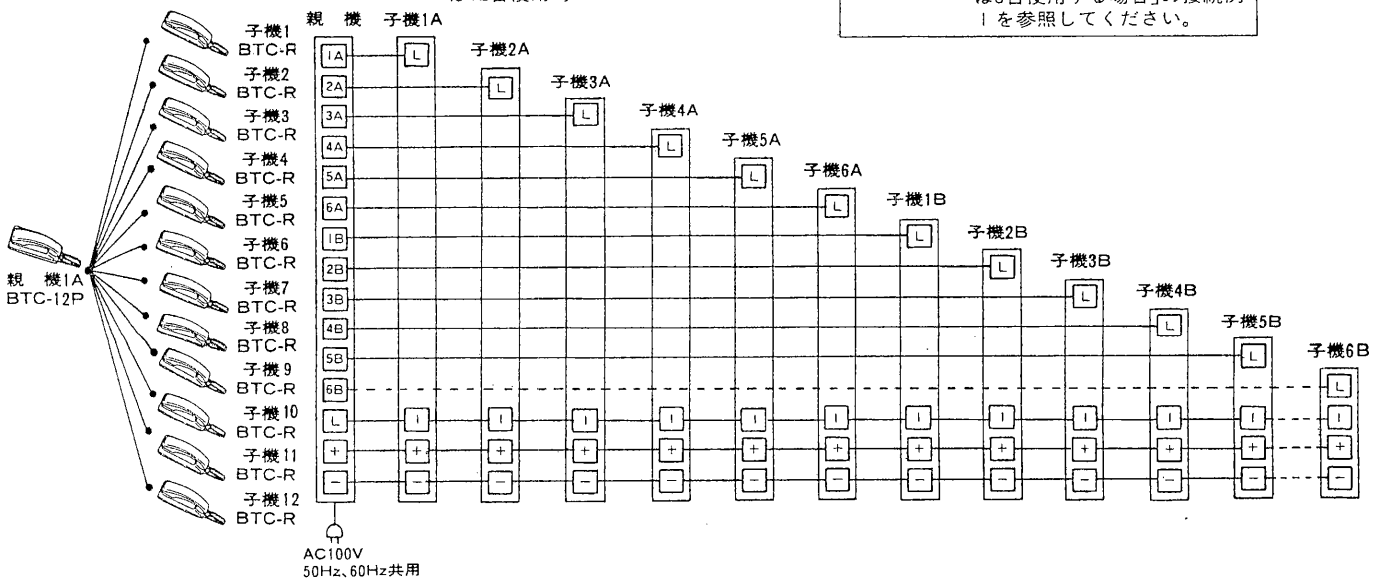
■親子式で子機を11台または12台使用する場合

親機BTC-12P　　１台
子機BTC-R　　11台または12台

● 通話網

● 接続例１　共通線を送り配線する場合
配線数：（３＋子機台数）本
…は12台使用時

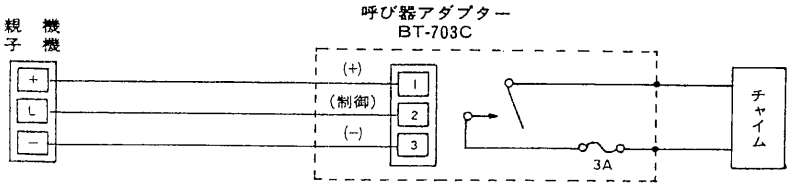
● 接続例２　集中方式で各子機へ４本ずつ配線する場合「子機を7台または8台使用する場合」の接続例１を参照してください。



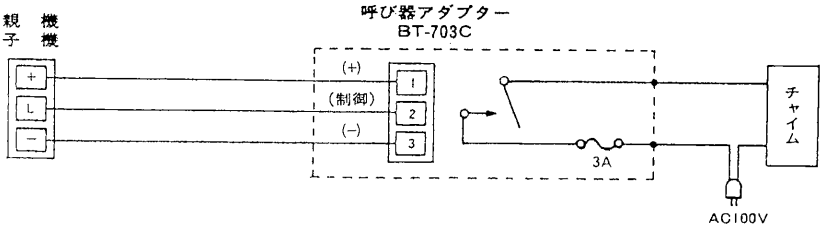
■呼び器アダプター(BT-703C)の接続

相手から呼ばれたとき、呼び器アダプターを使用して、ベル、ブザー、チャイムなどを連動して鳴らす場合、次のように接続してください。

● 接続例1　乾電池式チャイムを使用する場合



● 接続例2　電灯線式(AC100V)チャイムを使用する場合

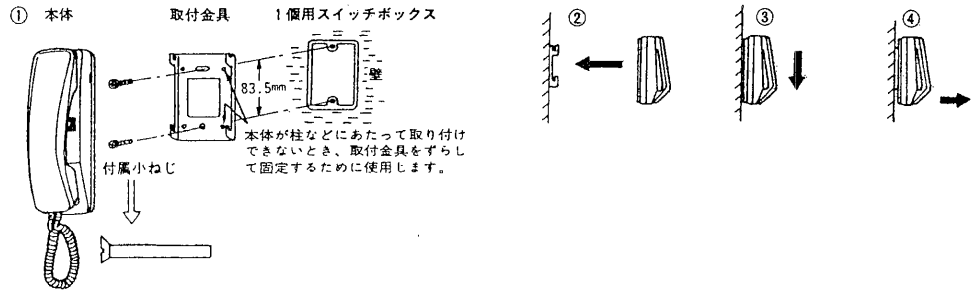


- 呼び器アダプターには、ベル、ブザー、チャイム用の電源を持ちませんので、独自に電源が必要です。
- 呼び器アダプターの接点は、インターホンが呼ばれている間だけ閉じています。

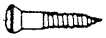
取り付けかた

■1個用スイッチボックスに取り付けるとき

① 取付金具を付属のねじ(さら小ねじM4×30㎜プラマイ)2本で、すでに取り付けられている1個用スイッチボックスに「UP⬆」を上にして取り付けます。
② 配線したのち、取付金具のつめに本体の底ぶたの引掛穴を合わせて本体を押し込み、
③ 下方へ引いてください。
④ 正しく取り付けられたか手前に引いて確かめてください。(はずれなければ取付完了です。)



■柱や壁に取り化けるとき

① 取付金具を付属の木ねじ(丸さら小ねじφ3.8×20㎜プラマイ)2本で柱や壁に取り付けます。(取付金具は「UP⬆」を上にして取り付けてください。)
- 付属木ねじ…… 

② 以後は上記の1個用スイッチボックスに取り付ける手順と同じです。

■ご注意

このインターホンは屋内専用で−10℃～50℃の温度範囲で使用するように設計してつくられています。つぎの場所には取り付けないでください。

- ストーブなどの暖房器具の真上やその付近。
- 直射日光のあたる場所。
- 製氷倉庫など−10℃以下になる場所。
- 浴室など特に湿度の高い場所。
- 有害ガスやいろいろなほこりの特に多い場所。
- 水や薬品がかかるおそれのある場所。

＜生産完了 2004年01月01日＞
BTC-12 (6/8)

修理サービス

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、親機の電源プラグをコンセントから抜いて、お買いあげの販売店(工事店)またはお近くの東芝消費者ご相談センター、東芝家庭電器サービスステーションにご相談ください。

なお、ご相談されるときは形名およびお買いあげ時期をお忘れなくお知らせください。

仕　様

- 通話網の方式　複合式
- 通話方式　電話形同時通話式
- 電源　BTC-12P：AC100V 50Hz、60Hz共用
  BTC-12、BTC-R：親機より供給
  DC 12V
- 消費電力　BTC-12P　待受時2W、最大時3.5W
- 消費電流　BTC-12、BTC-R　待受時0mA
  最大時65mA
- 呼出信号　電子発信音(ピー)
- 通話路数　1
- 配線本数　親機－副親機間　2＋使用台数
  親機－子機間　各子機へ4線
- 設置　設置形式　壁掛形(1個用スイッチボックスに適合)
  設置場所　屋内専用
  使用周囲温度　－10℃～＋50℃

- 通達距離　親機、副親機、子機相互間

線種	公称断面積(mm²)	0.3	0.5	0.75	1.25
	より線(本/mm²)	12/0.18	20/0.18	30/0.18	50/0.18
	単線　(mm)	0.65	0.8	1.0	1.2
通達距離　(mm)		150m以下	250m以下	300m以下	600m以下

- 重量　親機 710g　副親機 450g　子機 360g
- 色調　本体、送受器オフホワイト
  (マンセル10YR9/1)
- 材質　プラスチック(ABS樹脂)
- 構成

本体	1
取付金具	1
取付ねじ(M4×30)	2
取付木ねじ(φ3.8×20)	2
取扱説明書	1
サービスステーション一覧表	1
吊りひも付記名カード	1

＜生産完了 2004年01月01日＞
BTC-12 (7/8)

東芝ライテック株式会社

住宅機器事業部

〒140-8660　東京都品川区南品川2-2-13（南品川JNビル）
TEL　(03)5463－8777

＜生産完了 2004年01月01日＞